



10月安兵衛墓碑に イタリア大使納土

10月18日(金)午前11時、イタリア大使のベネディッティ氏が新発田市大栄町の長徳寺を訪れ、平成29(2017)年に建立された堀部安兵衛の墓碑に、安兵衛が切腹したイタリア大使館の庭から土が運ばれ、イタリア大使自らの手で納土されたのである。

**安兵衛終焉の地は
現在のイタリア大使館の庭**
安兵衛切腹の地は当時の伊予松山藩邸で現在はイタリア大使館となっているからだ。
すでに長徳寺に建てられた墓碑には平成29(2017)年に赤穂市の華岳寺から遺髪が納められ、泉岳寺の墓からは分骨(墓周辺の土)されている。
イタリア大使のベネディッティ氏

は大学を首席で卒業した俊傑であるばかりでなく、日本文化に造詣が深く、挨拶では次のように語った。「日本とイタリアの関係は経済・貿易にとどまらない。武士道とイタリアの騎士道は相通する。それは惻隠(そくいん)の情と義の心である」と語った。

義士堂の案内は武庸会の会長・高橋正明が行った。木像だけでなく、天井画にも鋭い質問を飛ばしていたのが印象深い。その後大使は、長徳寺護持会(会長・荻野秀介)や武庸会の会員、墓碑を寄贈した石井組の石井和郎社長とともに武庸会前会長嶋谷次郎八の「志まや」で食事会に臨み、そこで相馬御風の書を鑑賞した。
大使は前日夜の新潟イタリア



墓碑にイタリア大使館の土を入れるベネディッティ大使。
介添は石工の村山一雄氏、大使の後ろは長徳寺住職・関根正隆氏



左端がヴェネディッティ大使、中央が武庸会会長高橋正明、その右が護持会の荻野秀介氏

協会設立25周年パーティー」と当日夜の閑隙を縫って、デムーロ等書記官、デマイオ・イタリア文化会館館長を伴って、大使たつての希望で長徳寺を訪れたものである。本来の外交の仕事以外に大名庭園の研究が日本赴任中のテーマとのこと。この日は朝早くから国名勝の「清水園」を訪れ、近江

八景を模した州浜を絶賛し、キリシタン灯籠に感嘆の声を上げたという。
*
17日(木)には中央義士会理事長の柿崎輝彦氏が安兵衛生誕地、新発田城、清水園の「安兵衛伝承館」を見学し、最後に長徳寺の安兵衛実父・中山弥次右衛門の墓に参詣した。案内は武庸会の副会長・長谷川敏である。
最後に会場を設営した新発田市観光協会にお礼申し上げる。



17日昼、中山弥次右衛門の墓に手を合わせる
中央義士会理事長柿崎輝彦氏



17日夜、新潟イタリア協会設立25周年パーティーにて

義

新発田うまれの堀部安兵衛



高田馬場の決闘松本楓湖

▼武庸会の竹内孝浩が「義士大観」なる書物を見つけた。大正9(1920)年発行、天地2冊の大部で「忠臣蔵」の世界を78の「賛」(文)と「畫」(画)で構成している▼安兵衛の「高田馬場の決闘」の賛は後藤新平と大倉喜八郎、畫は帝国美術院の松本楓湖だ。大倉は「其名さへ高田の馬場に里いものほ里出さ禮た類堀部安兵衛」と寄せた▼高田馬場の決闘の画は、安兵衛が深手をおった菅野六郎左衛門を若党の角田佐次兵衛に背負わせ、馬場を引き上げる場面だ▼この画に講談や浪曲に登場する堀部安兵衛の妻や娘は現れないが、福本日南の解説では高田の馬場に駆け付ける際に櫛酒をおくる記述はある。当時、元禄赤穂事件は史実と「仮名手本忠臣蔵」とないまぜだったのである▼ところで、賛畫の前文に「中山安兵衛は越後新発田藩、溝口侯の藩士中山弥次右衛門の子」とあり、弥次右衛門の墓は大栄町の長徳寺にある▼しかし、会津坂下町教育委員会は「安兵衛の父は安太郎、父母の墓は貴徳寺(会津坂下町)にある」と書いている▼武庸会は抗議の準備をしている。



堀部安兵衛は大英雄。 義に生きた新発田人

堀部安兵衛武庫は寛文10(1670)年、新発田藩土中山弥次右衛門の嫡子として外ヶ輪(今のJA北越後新発田店)で生まれた。母は藩祖秀勝の娘糸姫と溝口四郎兵衛との娘である。したがって安兵衛は藩祖の曾孫だ。

父は天和3(1683)年に辰巳橋失火の責任をとって没入し、その後死亡。安兵衛は牛崎村長井家に嫁いだ姉の世話になり、19歳で江戸に出る。

江戸では堀内源左衛門道場で直心影流を学び、道場一の達人となった。

高田馬場の助太刀で 一挙に名を挙げた安兵衛

元禄7(1694)年、堀内道場で知り合い叔父甥の契りを交わしていた菅野六郎左衛門の高田馬場の果し合いに助太刀し、3人を倒した。講談では18人倒したことになる。また、早稲田の酒屋小倉屋で一升酒をあわたとの伝説もある。

この活躍を聞いた赤穂藩留守居役堀部弥兵衛から婿にと懇願

武庸会(たけつねかい)は 堀部安兵衛の顕彰団体

四十七士の一人、新発田生まれの堀部安兵衛武庫を顕彰する武庸会(たけつねかい)は明治45(1912)年、新発田町の有志、富田精策・上野喜永次・高橋誠一郎・土田亦次郎らが相集って堀部安兵衛の顕彰碑を生家菩提寺の長徳寺に建立する計画を進めていたのが創設のきっかけだ。

人気絶頂の桃中軒雲右衛門の義士像寄贈が設立に拍車を

その年の5月、義士銘々伝で人気絶頂の浪曲師・桃中軒雲右衛門が新発田を訪れ、石碑建立の話に感激し、義士の木像寄贈を申し出た。そして12月14日に武庸会の発足を決議し、翌大正2(1913)年2月4日に武庸会が発足した(なお、中央義士会の創設は大正5年)。



同年4月10日、木像は新発田駅に到着し、16日三之町青年団や義士に扮した新発田芸妓(写真)によって長徳寺に納められた。ただ、義士像を安置する義士堂の建設は紆余曲折があり、昭和4(1929)年まで待たねばならなかった。その後、会員は100名を超える盛況ぶりだったが、戦争中の昭和18(1943)年からは活動が休止となり、戦後もサンフランシスコ講和条約が成るまで、活動できなかった。しかし、条約成立後の昭和26(1951)年に義士祭が復活、平成25(2013)年に設立100周年を迎えた。

武庸会の行事は12月14日の義士祭、2月4日の命日法要がある。しかし、そのほかに平成元(1989)年から30年以上続いた唐仁塾による「討ち入り蕎麦振る舞い」、平成9(1997)年の「手植えの松・代目植樹」、平成24(2012)年から数回続いた生誕地まつり実施なども記しておく。

たけつねかい 武庸会の役員

会長	高橋正明
副会長	石川富夫
副会長	長谷川敏
副会長	大滝俊雄
顧問	嶋谷次郎八

義士祭

令和6年12月14日(土) 午後14時~18時
場所/長徳寺(大栄町 2-7-22)

12月14日は新発田生まれの剣豪、堀部安兵衛武庫が吉良邸に討入りし、見事本懐を遂げた日です。安兵衛を顕彰する武庸会では毎年、法要を営むとともに「少年少女剣士」によるパレードを実施しています。当日は、新発田ライオンズクラブによる「討入りそば」の振舞(無料)や「義士堂」の公開、御免町小安兵衛太鼓部による演奏で安兵衛を偲んでいます。

問 武庸会事務局(観光協会内) TEL 0254-26-6789



午後14時 日本剣道形披露・詩吟披露など
15時30分 法要
15時45分 安兵衛太鼓披露
16時15分 少年少女剣士パレード

武庸会に 入会しませんか?

以下ご記入の上、
年会費 3,000円をお振込ください。

氏名

〒

住所

電話番号

堀部安兵衛の顕彰事業のほか、
安兵衛関連出版事業や
安兵衛 & 四十七士および
忠臣蔵ゆかりの地への旅など
楽しい企画を実施しています。

年会費振込先

新発田信用金庫 本店
普通口座 0446278
口座名 タケツネカイ

問い合わせ/
新発田市観光協会内

武庸会事務局
TEL.0254-26-6789 FAX.0254-26-5031